

プロジェクト成功の進め方

プロジェクトの進め方

(1)プロジェクト全体の進め方

まずは経営環境、経営課題分析をベースにその解決策を盛り込んだ基幹ビジネスモデル／システムモデルを立案します。
次に、そのモデルを機能業務ごとに分解し(全体最適計画:販売・在庫・生産計画、販売・物流、生産・原価管理機能など)
各業務毎の課題／解決策を策定し業務要件およびシステム化要件を定義します。
そして、要件定義に適したソリューションを決定し、以後システム開発、実運用を実施します。

1. 全体構想の立案

… 経営環境、経営課題分析をベースにその解決策を盛り込んだ基幹系全体の統合ビジネスモデル／システムモデルを立案する。

2. 業務別課題抽出／解決策策定／ 業務要件、システム要件定義

… 各業務毎の課題／解決策を策定し業務要件およびシステム化要件を定義する。

3. ソリューションの選別／決定

… 自社ソリューション及び他社からの情報をもとに、要件定義に最適なソリューションを決定する。

4. システム設計 ・パッケージのFIT & GAP分析 ・システム設計

… ①パッケージソリューションが選定された場合、新ビジネスプロセスとパッケージとのFIT & GAP分析を行いカスタマイズ、追加開発部分を設計する。
②新規での個別システム開発が選定された場合、システムの設計を行う。

5. 開発範囲の決定と実行計画の承認

… 開発範囲、開発費用、スケジュール、プロジェクト体制等、開発／導入に向けた実行計画を策定し承認を受ける。

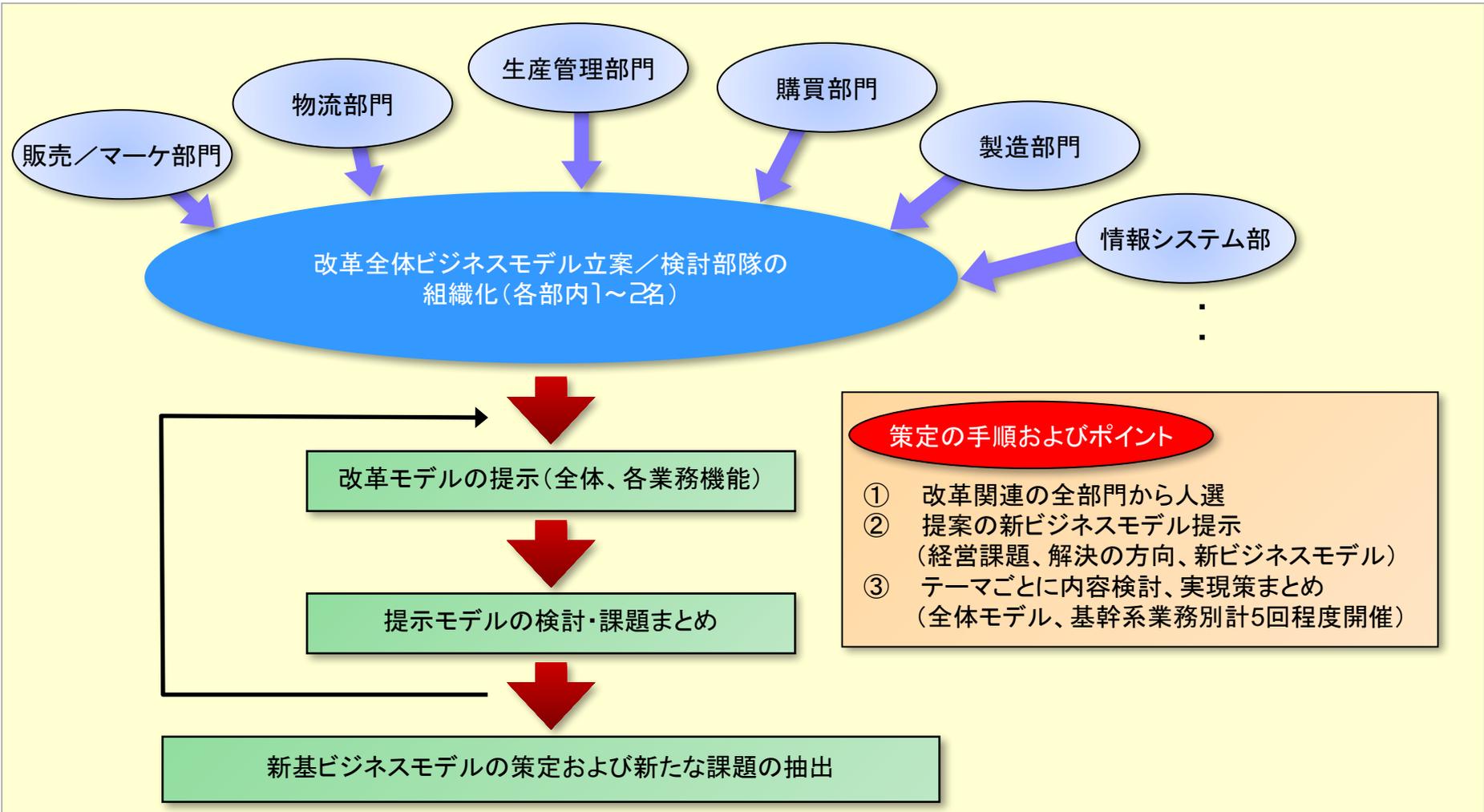
6. システム開発／導入

… 結合テスト、システムテスト、運用テストを実施する。

プロジェクトの進め方

(2) 全体構想立案フェーズの進め方

提案のモデルを参考にいただき、改革後の基幹ビジネスモデルをご検討／策定いたします。
また、同時に新ビジネスモデル実現に当たり、新たな課題やその対処の方向性を策定します。



プロジェクトの進め方

(3) 業務別課題分析・要件定義フェーズの進め方

まず現状保有の組織課題や現場の問題点を抽出し、その発生原因の分析および解決策を策定します。
次に初期に構想した新ビジネスモデルに対し、新モデル実行に際し発生する課題および対策を検討します。
そして現行の課題対策や新業務課題対策を盛り込んだ新ビジネスプロセスを策定します。

